

# 感染症発生状況

平成 29 年 10 月 6 日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長 様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

平成29年9月25日（月）～9月29日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象人数（定員）は2,615名です。

この週の延べ欠席者数 380名

1日あたりの延べ欠席者数 76名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数 82名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

症状では 熱（137名）、下痢（38名）、咳（36名）、体調不良（32名）

疾病ごと 手足口病（欠席16名、登園9名）、おたふくかぜ（17名）、

気管支炎・肺炎（8名）

手足口病、おたふくかぜが流行しています。そろそろ夏風邪（ヘルパンギーナなど）は終息するでしょう。

インフルエンザのシーズンが来ます。予防接種が始まりますので、積極的に受けることをおすすめします。

おたふくかぜは1,000人に1人の割合で、難聴の方が出ます（不可逆的難聴）。予防が大切です。

## 【症状別の発生状況】

手足口病 玉山，厨川，河北，河南，都南地域で流行しています。

気管支炎・肺炎 厨川，河北，盛南地域で流行しています。

おたふくかぜ 河北，都南地域で流行しています。

## 【県の状況（9/18～9/24）】

手足口病は3週続けて減少しましたが、宮古及び中部地区では警報値（定点あたり患者数5人）を超えています。飛沫及び接触感染のほか、便に排出されたウイルスからも感染します。手洗いと排泄物の適切な処理を行うこと、患者との濃厚接触やタオルの共用を避けることが重要です。頭痛、嘔吐、高熱が続く場合は医療機関の受診が勧められます。

流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）は、県央及び中部地区で注意報値（同3人）を超えました。主な症状は耳下腺の腫脹や発熱ですが、髄膜炎や難聴等の合併症を引き起こす場合もあります。ワクチン接種による予防が効果的です。

RSウイルス感染症は2週続けて減少しましたが、例年はこの時期から増加するので、引き続き注意が必要です。患者は2歳以下が多くを占めます。咳やくしゃみ、ウイルスが付着した手指などを介して感染するため、咳エチケットや、手洗いによる予防が重要です。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤル）ファックス 652-3424】